

授業科目名	応用憲法 I Advanced Constitutional Law I
授業科目群	法律基本科目
標準学年	2年次
必修・選択の区別	必修
開講学期	前期
開講曜日・時限	火曜日・3時限
単位数	2単位
担当教員名	井上武史 (Inoue Takeshi)
授業の目的	憲法学上の基本的知識の習得と定着を図り、それを使って具体的事案で憲法論を組み立てられるようになること。
履修条件	基礎憲法を履修済みであること。
到達目標	カリキュラムマップ、到達目標科目対応表及び学修ロードマップを参照のこと。
授業の概要	基本的人権に関する重要判例を検討する。 中間試験を実施する(1回)。
	Lecture on fundamental rights
授業計画	第1回 思想・信条の自由、学問の自由 第2回 信教の自由(1) 第3回 信教の自由(2) 第4回 表現の自由(1)営利的言論／わいせつ表現の禁止 第5回 表現の自由(2)表現の態様規制 第6回 表現の自由(3)選挙運動の自由 第7回 表現の自由(4)事前抑制と検閲の禁止 第8回 表現の自由(5)報道・取材の自由、中間試験 第9回 集会・結社の自由 第10回 職業選択の自由 第11回 財産権 第12回 生存権 第13回 教育を受ける権利 第14回 労働基本権 第15回 適正手続を受ける権利、刑事手続上の権利
授業の進め方	原則として、教科書として指定するケースブックに基づいて行う。各回の授業では、基本事項と重要判例の内容を確認した後、設問について検討する。
教科書及び参考図書等	初宿正典・大石眞編著『憲法Cases & Materials人権[第2版]』(有斐閣、2013年)。 その他の参考図書は、第1回授業で指示する。
試験・成績評価等	期末試験60%、中間試験30%、出席・質疑に対する応答など10%。
事前学習	未修1年次で学ぶ範囲のコア・カリキュラムの項目(「授業開始前に取り組むべき学修範囲」)。
課題レポート等	予定していない。
オフィスアワー	火曜日・4時限

その他	
-----	--